

1 地球とその外側の世界

- (1) **地軸** 地球の北極と南極を結ぶ回転軸。
- (2) **自転** 天体が地軸を中心に回転する運動。
- (3) **公転** 天体が他の天体のまわりを回転する運動。
- (4) **太陽系** 太陽とその周辺を回っている天体の集まり。
- (5) **惑星** 恒星のまわりを回っているある程度の質量と大きさをもった天体。
- (6) **地球型惑星** 水星・金星・地球・火星といった密度の大きい惑星。
- (7) **木星型惑星** 木星・土星・天王星・海王星といった密度の小さい惑星。
- (8) **小惑星** 主に火星と木星の間にある不規則な形をした小天体。
- (9) **地球外縁天体** 冥王星のように、海王星の外側を公転する天体。
- (10) **すい星** 細長い楕円軌道で公転し、太陽に近づくと尾を引く天体。
- (11) **衛星** 月のように、惑星のまわりを公転する天体。
- (12) **恒星** 太陽や星座の星のように、みずから光を出す天体。
- (13) **黒点** 太陽の表面にある、温度がまわりより低いため黒く見える斑点。
- (14) **等級** 恒星の明るさを表す単位。
- (15) **光年** 光が1年間で進む距離を1とする、恒星などの距離を現す単位。
- (16) **天文単位** 太陽と地球の距離を1とする、太陽系内の距離などを現す単位。
- (17) **銀河系** 太陽が属している、約2000億個の恒星の集団。
- (18) **銀河** 銀河系の外側にある、銀河系と似た恒星の集団。

2 太陽と恒星の動き

- (1) **天球** 天体の位置などを示すために、空を球で表したもの。
- (2) **子午線** 地球の北極から観測点を通り南極なでを結ぶ経線。
- (3) **南中** 天体が天の子午線上にくること。
- (4) **日周運動** 地球の自転による、天体の見かけの運動。
- (5) **黄道** 地球から見た太陽が、星座の中を動いていく通り道。
- (6) **年周運動** 地球の公転による、天体の見かけの運動。
- (7) **夏至(の日)** 太陽の南中高度が最も高くなる日。
- (8) **冬至(の日)** 太陽の南中高度が最も低くなる日。
- (9) **春分・秋分(の日)** 太陽が真東から昇り、真西に沈む日。

3 月と金星の動きと見え方

- (1) **上弦の月** 左半分が欠けた(右半分がかがやいている)月。
- (2) **下弦の月** 右半分が欠けた(左半分がかがやいている)月。
- (3) **日食** 地球から見ると、月が太陽と重なり、太陽がかくされる現象。
- (4) **月食** 月が地球の影の中に入る現象。
- (5) **新月** 太陽光の反射が見られない月。日食が見られるときの月。
- (6) **満月** 欠けた部分のない月。月食が見られるときの月。

1 地球とその外側の世界

- (1) 地軸 地球の北極と南極を結ぶ回転軸。
- (2) 自転 天体が地軸を中心に回転する運動。
- (3) 公転 天体が他の天体のまわりを回転する運動。
- (4) 太陽系 太陽とその周辺を回っている天体の集まり。
- (5) 惑星 恒星のまわりを回っているある程度の質量と大きさをもった天体。
- (6) 地球型惑星 水星・金星・地球・火星といった密度の大きい惑星。
- (7) 木星型惑星 木星・土星・天王星・海王星といった密度の小さい惑星。
- (8) 小惑星 主に火星と木星の間にある不規則な形をした小天体。
- (9) 地球外縁天体 冥王星のように、海王星の外側を公転する天体。
- (10) すい星 細長い楕円軌道で公転し、太陽に近づくと尾を引く天体。
- (11) 衛星 月のように、惑星のまわりを公転する天体。
- (12) 恒星 太陽や星座の星のように、みずから光を出す天体。
- (13) 黒点 太陽の表面にある、温度がまわりより低いため黒く見える斑点。
- (14) 等級 恒星の明るさを表す単位。
- (15) 光年 光が1年間で進む距離を1とする、恒星などの距離を現す単位。
- (16) 天文単位 太陽と地球の距離を1とする、太陽系内の距離などを現す単位。
- (17) 銀河系 太陽が属している、約2000億個の恒星の集団。
- (18) 銀河 銀河系の外側にある、銀河系と似た恒星の集団。

2 太陽と恒星の動き

- (1) 天球 天体の位置などを示すために、空を球で表したもの。
- (2) 子午線 地球の北極から観測点を通り南極なでを結ぶ経線。
- (3) 南中 天体が天の子午線上にくること。
- (4) 日周運動 地球の自転による、天体の見かけの運動。
- (5) 黄道 地球から見た太陽が、星座の中を動いていく通り道。
- (6) 年周運動 地球の公転による、天体の見かけの運動。
- (7) 夏至(の日) 太陽の南中高度が最も高くなる日。
- (8) 冬至(の日) 太陽の南中高度が最も低くなる日。
- (9) 春分・秋分(の日) 太陽が真東から昇り、真西に沈む日。

3 月と金星の動きと見え方

- (1) 上弦の月 左半分が欠けた(右半分がかがやいている)月。
- (2) 下弦の月 右半分が欠けた(左半分がかがやいている)月。
- (3) 日食 地球から見ると、月が太陽と重なり、太陽がかくされる現象。
- (4) 月食 月が地球の影の中に入る現象。
- (5) 新月 太陽光の反射が見られない月。日食が見られるときの月。
- (6) 満月 欠けた部分のない月。月食が見られるときの月。